

農林水産商工常任委員会資料

(平成22年4月21日)

- 1 鳥取県公営企業の今後の方向性検討委員会（中間報告）
「経営改善5ヶ年計画（平成18～22年度）の達成状況」について・1ページ
- 2 平成21年度各事業実績について・・・・・・・・・・・・・・・・・・3ページ

企 業 局

鳥取県公営企業の今後の方向性検討委員会（中間報告）
「経営改善5ヶ年計画（平成18～22年度）の達成状況」について

平成22年4月21日

企業局 経営企画課

平成21年11月から22年4月までに「鳥取県公営企業の今後の方向性検討委員会」（委員長：鳥取大学光多教授）を3回開催し、経営改善5ヶ年計画の平成18年度から20年度までの目標達成状況や具体的な取組状況、平成21年度の達成見込みについて調査を重ね、また日野川工業用水道事業における平成22年度以降の契約水量減量による大幅な減収なども勘察し、経営改善5ヶ年計画の達成状況について評価して頂いた。

今後は、委員会において、経営改善5ヶ年計画の評価結果、経営状況や公営企業を取り巻く環境の変化などを勘察し、平成22年10月頃に鳥取県公営企業の今後の方向性、次期経営改善計画策定に向けての提言を頂き、次期経営改善計画（平成23年度以降）を策定することとしている。

1 経営改善5ヶ年計画における経営改善の評価

（1）電気事業

発電コストの削減や新規エネルギー開発などを積極的に行うとともに、収益も順調に確保されており、評価できるものである。

一方、公営事業としての電気事業の意義が問われていることから、国や県の自然エネルギー政策の動向や、電気事業の民間への譲渡や運営形態の見直しなど他の公営企業の事例も参考にしながら、今後の方向性を検討する必要がある。

（2）工業用水道事業

人員削減やアウトソーシングの推進、営業活動の強化などの経営努力が行われていることについては評価できるが、工業用水道事業を取り巻く環境は、近年の長引く経済の低迷から企業の経営状況が厳しく、工業用水の需要の減少による収入の落ち込みや将来見通しが立てにくいなど厳しい経営状況となっている。

一方、産業基盤の一つとして工業用水道事業が担う社会的役割は大きいため、今後は持続可能な経営方法や運営形態の検討を進める必要がある。

（3）埋立事業

企業局ホームページやパンフレットを活用した情報提供を積極的に行っていることは評価できるが、厳しい社会情勢は続いており、年間販売及び長期貸し付け目標に対して十分な成果はあがっていない。

一方、産業振興の一つとして県が工業団地を確保する社会的役割は大きく、今後は目標設定の見直し等も含め検討し直す必要がある。

2 経営改善5ヶ年計画(平成18～22年度)の達成状況

(1) 目標達成状況

① 電気事業

目 標	実 績
発電コスト10%以上削減・削減額340百万円(5年間)	195百万円(3年間) (削減目標比57.2%) 238百万円(H21までの4年間見込み) (削減目標比70.0%) 334百万円(H22までの5年間見込み) (削減目標比98.2%)
売電電力量増加：運転停止時間短縮	修繕工事の一括施工等で運転停止時間短縮

② 工業用水道事業

目 標	実 績
運転経費10%以上削減・削減額327百万円(5年間)	295百万円(3年間) (削減目標比90.4%) 335百万円(H21までの4年間見込み) (削減目標比102.3%) 455百万円(H22までの5年間見込み) (削減目標比139.2%)
新規需要開拓 (鳥取工水) 10,000→12,400m ³ /日 (日野川工水) 48,400→50,000m ³ /日	10,700m ³ /日 3事業所 47,700m ³ /日 84事業所 (H21末)

③ 埋立事業

目 標	実 績
竹内団地 年間10,500m ³ ・一括売却3,500m ³ ・割賦販売3,500m ³ ・長期貸付3,500m ³	長期貸付 6,553m ² 2件 (H18・19) 割賦販売 2,000m ² 1件 (H21) 計 8,553m ² 3件(4年間) (達成率16.3%)

(2) 具体的な経営効率化の取組状況

① 電気事業

区 分	個別目標数	備 考
実施済	9	アウトソーシング推進(発電運転監視業務外部委託)ほか 12人削減(49人(H17年度末)→37人(H22.4.1))
実施中	20	効率的な事務の執行、発注方法の見直しほか
未実施	2	新幡郷発電所発電効率の向上、ゲート開閉による堆積土砂の減量
計	31	

② 工業用水道事業

区 分	個別目標数	備 考
実施済	5	アウトソーシング推進(運転監視業務外部委託)ほか 9人削減(17人(H17年度末)→8人(H22.4.1))
実施中	16	運転経費の削減ほか
計	21	

③ 埋立事業

区 分	個別目標数	備 考
実施中	1	県民にわかりやすい情報提供(企業局ホームページ・パンフレット)
計	1	

3 今後の予定

- 5～6月 ワーキング (経営状況や公営企業を取り巻く環境変化、現状と課題、今後の方向性)
7月 第4回委員会 (次期経営改善計画の基本方針)
9～10月 第5回委員会 (次期経営改善計画の策定に向けての提言)

平成21年度各事業実績について

平成22年4月21日
企 業 局

1 電気事業

水力発電については、梅雨期や3月の融雪期には水量が平年より多く、特に11月は平年の2倍程度の降雨があったが、その他の期間においては5月、9月の渇水傾向の月もあり、また春米発電所の水車、発電機分解点検作業による運転停止等があったことから、発電量は目標の89.8%であった。

風力発電については、年間を通じて平均風速が予想を下回り、発電量は目標の89.7%であった。

(1) 売電料金

(単位:千円)

区分		平成21年度				平成20年度 実績(C)	対前年比 B/C
		目標(A)	実績(B)	過不足	B/A		
水力	年度計	1,792,952	1,756,632	△ 36,320	98.0%	1,804,060	97.4%
風力	年度計	59,512	53,400	△ 6,112	89.7%	48,734	109.6%
	合計	1,852,464	1,810,031	△ 42,432	97.7%	1,852,794	97.7%

※水力の収益減は、単価改定によるものである。(20年度11.15円→21年度10.71円)

※端数処理のため、内訳と合計が一致しない場合がある。

(2) 販売電力量

(単位: MWh)

区分		平成21年度				平成20年度 実績(C)	対前年比 B/C
		目標(A)	実績(B)	過不足	B/A		
水力	年度計	159,459	143,154	△ 16,305	89.8%	138,467	103.4%
風力	年度計	5,524	4,957	△ 567	89.7%	4,524	109.6%

2 工業用水道事業

(1) 日野川工業用水道事業

	平成21年度			平成20年度			調定額 対前年比 A/B
	契約水量 (m3/日)	契約数 (社)	調定額(A) (千円)	契約水量 (m3/日)	契約数 (社)	調定額(B) (千円)	
年度計	49,700	85	442,937	49,400	84	454,502	97.5%

※平成22年4月1日現在 36,300m3/日(大口ユーザーの減量承認による。)

(2) 鳥取地区工業用水道事業

	平成21年度			平成20年度			調定額 対前年比 A/B
	契約水量 (m3/日)	契約数 (社)	調定額(A) (千円)	契約水量 (m3/日)	契約数 (社)	調定額(B) (千円)	
年度計	10,700	3	185,008	10,700	3	183,013	101.1%

3 埋立事業

(1) 新規売却及び長期貸付

地区名	売却先	面積(m ²)	売却代金(千円)	備考
竹内	(株)エムズコレクション	2,000	24,000	10年割賦払い

(2) 割賦販売、長期貸付の受入状況

	収入額(千円)
割賦販売	42,817 (6社)
長期貸付	83,773 (7社)
年度計	126,590

(3) みなと温泉館の利用状況

	平成21年度			平成20年度		対前年比(%)	
	入館者数 (A)(人)	1日平均 入館者数(人)	収入(B) (千円)	入館者数 (C)(人)	収入(D) (千円)	入館者数 A/C	収入 B/D
年度計	98,787	282.2	42,094	100,110	44,753	98.7%	94.1%

※収入: 指定管理者が収納したみなと温泉館の入館料+その他収入